

閉会中の調査報告

福祉教育常任委員会

開催日：平成27年5月7日（木）13:00～17:00

出席者：常任委員会（松原委員長、松井副委員長、松山委員、植中委員、栗津委員）及び望月議長

説明員：教育部長、教育部管理監、生涯学習課参事、健康福祉部次長、子育て支援課長、子育て支援課参事、平松保育園長、社会福祉法人愛心会（理事長、施設長、主任保育士）

所管事務調査

1. 通学路の危険箇所について（現地踏査）

毎年、各小中学校単位でPTAより要望が出される通学路の危険箇所については、台帳を作成し、管理している。また、市関係部署と県公安委員会による協議の場を設け、対策に取り組んでいるが、まだまだ多く存在していると説明を受けました。そのような中、当委員会としても数多くある危険箇所のうち7か所の現地踏査を行い、問題点や危険度等を確認しました。各委員からは、進捗状況、対策案などに対して質疑がありました。



2. 子育て支援の現状と課題について

・平松保育園

平成25年4月新園舎完成後の使用状況、平成28年4月に認定こども園への移行をめざす平松保育園の現状を確認するため視察を行いました。説明によると、平松保育園は、祖父母の送り迎えが多く、地域の保育園というイメージが浸透しており、地域とのふれ合い度が濃く、子どもたちも比較的穏やかに生活している。また、現在、1対1の対応が必要な障がいのある子どもも在園しているとのことでした。園舎は24時間換気で、冬は暖かく、夏は涼しい快適な建物になっているとのことでした。各委員からは、延長保育の状況、職員の配置状況、給食などに対して質疑がありました。



・社会福祉法人 愛心会 しおん園

平成27年4月からの運営となっていたが、建築が遅れ、建物の引き渡しが3月末となったことにより、応募者が少ないままのスタートになったと説明を受けました。保育園は定員60名のところ、30名でのスタートとなったが、通常保育の他に英語教育やリトミックを取り入れ特色を出していきたい。また、学童保育所は、現在の入所者は6名ほどであるが、早く安定した経営ができるよう人員を確保することが喫緊の課題であるとのことでした。各委員からは、園児と児童の確保対策、職員数、通園範囲などに対して質疑がありました。

